

## 設定資料 「 HyperDeck Studio 12G 」

本マニュアルは、MDC-70・MDC-70T・MDC-74を HyperDeck Studio 12G に接続する為の設定及び接続について記載します。

◆BlackMagicHyperDeck Ver5.2

◆検証時の SSD ※BlackMagic 社推奨 SSD をご使用下さい。

1) Crucial 社 MX300 2.5 SSD

2) SONY 社 Professional SSD 960GB

◆MDC-70/MDC-70T/MDC-74 ソフト Ver0100-01-6C 以降

## 内容

1. MDC-70 設定 .....	3
1.1 共通操作設定 .....	3
1.2 RS422 制御の時の設定 .....	5
1.3 LAN 制御の時の設定 .....	5
1.4 LAN 制御 & SIO 制御の時の設定 .....	6
1.5 複数台 同時再生の設定 .....	7
1.6 Blank ボタンの設定 .....	10

## 1. MDC-70 設定

HyperDeck Studio は LAN 制御または RS422 制御にてリモートコントロールが可能です。

※LAN 制御と RS422 制御の相違点は LAN 制御ではファイルの制御が可能です。

想定する使用方法として3パターンご用意しました。

1) RS422接続のみで制御する。

※ファイルの切替及び選択等は行えません。

2) LAN接続のみで制御する。

※ファイルの制御が可能です。(ファイル名の変更及びファイルの削除は行えません。)

※複数台同時制御時は数フレームの誤差があります。

3) RS422接続とLAN接続の両方を使用して制御する。

※複数台同時制御時の数フレームの誤差を最小限にする事が可能です。

### 1.1 共通操作設定

#### 【STOP 時の位置合わせ機能】

JOG操作及び早い操作を行うと、STOP位置が変わる事があります。

TC の差を合わせる時は、STOP ボタンを長押しするとマスターポート(点滅)している機器に合わせこみを行う事が可能です。

下記の☆MENU を設定して下さい。

関連メニュー<Console> 位置合わせ CUE UP 操作		
項目番号	項目名	内容
28205	StopSwLgOprMod	パラ選択時に STOP ボタンを長押しするとマスターポートに CUEUP します 1) Disable ☆ 2) MasterCueup
28208	StopSwLgOprTimer	STOP 長押し操作の時間指定 0=Def(30f) 運用に合わせて調整して下さい。

### 【LAN 制御時の 60P 素材使用時の設定】

LAN 制御で 60P 素材を使用する時は必ず下記のMENU☆の設定を行って下さい。

関連メニュー 出荷時は Normal 表示です。 ※SIO毎に設定して下さい。		
30208	TcCnvMod	60Frame 素材の TC 表示設定 1)Normal ☆ 2)BlkMgc60

60P 素材使用時に LAN 制御で取得が可能なTCは 60Frame です。

弊社コントローラではRS422 制御時との互換を確保する為に30Frameに換算して表示しております。よって表示TCは実際のTC÷2で表示します。

CUE点の登録時も同様のTCで登録します。

CUE点の呼出時はX2 倍のTCに CUE UP をする事により登録した映像の呼出を可能にしています。

同様にGOTO機能使用時もx2倍してCUE UP を行いますので、30Frame でタイムコード入力を行って下さい。

またStataus表示画面では Frame の桁にドットを表示する事により60Frame の偶数Frameと奇数 Frame を表現しました。



- ・ドット点灯時 奇数 Frame
- ・ドット消灯時 偶数 Frame

## 1.2 RS422 制御の時の設定

VTRと同等の制御となります。

ファイルの選択及び NEXT 動作は行えません。

Collection 設定を下記の様に切り替えて下さい。

No.	Name	Value
17002	\$PcSysPtn	1) Free
17100	\$Port-Default	2) Yes
17101	\$Port-Coupling12	1) No
17102	\$Port-Coupling34	1) No
17103	\$Port-Coupling12/34	1) No
17104	\$Port-Coupling1234a	1) No
17301	\$Port1-Protocol	32) BlkMgc-a Sio
17302	\$Port2-Protocol	32) BlkMgc-a Sio
17303	\$Port3-Protocol	32) BlkMgc-a Sio
17304	\$Port4-Protocol	32) BlkMgc-a Sio

Set   -   +   ResetMDC   Default   P.1

※VTR-a 設定との相違点は MENU 30D1A CUE UP コマンドに違いがあります。

## 1.3 LAN 制御の時の設定

1) Collection 設定を下記の様に切り替えて下さい。

No.	Name	Value
17002	\$PcSysPtn	1) Free
17100	\$Port-Default	2) Yes
17101	\$Port-Coupling12	1) No
17102	\$Port-Coupling34	1) No
17103	\$Port-Coupling12/34	1) No
17104	\$Port-Coupling1234a	1) No
17301	\$Port1-Protocol	31) BlkMgc-a Eth
17302	\$Port2-Protocol	31) BlkMgc-a Eth
17303	\$Port3-Protocol	31) BlkMgc-a Eth
17304	\$Port4-Protocol	31) BlkMgc-a Eth

Set   -   +   ResetMDC   Default   P.1

2) IP アドレスの設定

LAN 制御では対象機器の IP アドレスを設定します。

設定は SIO 毎に行います。

関連メニュー IP アドレスの設定 ☆出荷時は下記の IP アドレスを設定してあります。			
SIO1	32004	Eth:Dev-IpAddr	192.168.001.240
SIO2	32004	Eth:Dev-IpAddr	192.168.001.241
SIO3	32004	Eth:Dev-IpAddr	192.168.001.242
SIO4	32004	Eth:Dev-IpAddr	192.168.001.243

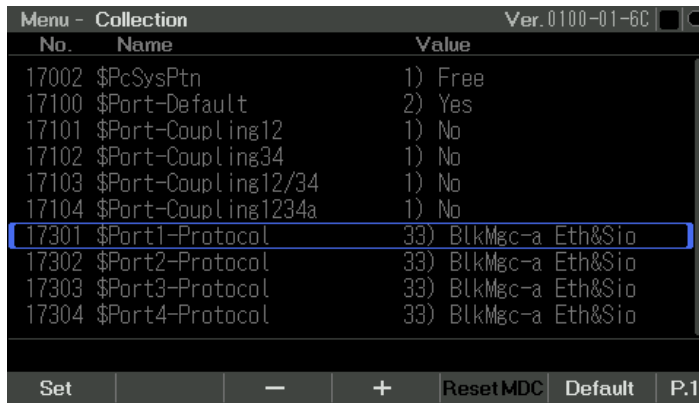
※MDC-70/MDC-70T/MDC-74 LAN2 自局の IP アドレスは 192.168.001.220 ですので設定を行う場合は自局の IP と競合しない様にお願い致します。

## 1.4 LAN 制御 & SIO 制御の時の設定

LAN 制御ではファイル制御を行い、RS422 では再生系の制御を行います。

複数台の同時再生を行う時にご使用下さい。

1) Collection 設定を下記の様に切り替えて下さい。



2) IP アドレスの設定

LAN 制御では対象機器の IP アドレスを設定します。

設定は SIO 毎に行います。

関連メニュー IP アドレスの設定 ☆出荷時は下記の IP アドレスを設定してあります。			
SIO1	32004	Eth:Dev-IpAddr	192.168.001.240
SIO2	32004	Eth:Dev-IpAddr	192.168.001.241
SIO3	32004	Eth:Dev-IpAddr	192.168.001.242
SIO4	32004	Eth:Dev-IpAddr	192.168.001.243

※MDC-70/MDC-70T/MDC-74 LAN2 自局の IP アドレスは 192.168.001.220 ですので設定を行う場合は自局の IP と競合しない様にお願い致します。

## 1.5 複数台 同時再生の設定

複数台を同時制御する時は下記の機能を有効にしてご使用下さい。

- ・Diff 表示機能
- ・STOP 時の位置合わせ機能
- ・ClipList 画面での LOOP 再生機能
- ・再生時のリトライ処理機能

複数台で同時再生を行う時に個体差によりズレが保持されてしまう状況があります。

ズレを補正する機能です。運用に合わせて「再生時の位置合わせ機能」を設定して下さい

### 【Diff 表示機能】

複数ポートを同時に再生する時に、再生 TC の差を確認する事が可能です。

点滅ポートの TC に対する相対位置(Diff) が表示されます。



### 関連メニュー Diff 表示の指定

項目番号	項目名	内容
29101	DvSts:LwrTcTyp	Diff 表示の指定 1) Normal 表示しません ☆ 2)Diff(MasterDev) 2) Diff(VirMcn) 未使用

【STOP 時の位置合わせ機能】

JOG操作及び早い操作を行うと、STOP位置が変わる事があります。

TC の差を合わせる時は、STOP ボタンを長押しするとマスターポート(点滅)している機器に合わせこみを行う事が可能です。

下記の☆MENU を設定して下さい。

関連メニュー<Console> 位置合わせ CUE UP 操作		
項目番号	項目名	内容
28205	StopSwLgOprMod	パラ選択時に STOP ボタンを長押しするとマスターポートに CUEUP します 2) Disable ☆ 2) MasterCueup
28208	StopSwLgOprTimer	STOP 長押し操作の時間指定 0=Def(30f) 運用に合わせて調整して下さい。

【再生時の位置合わせ機能】

4台の同期再生時、上記 Diff 表示でズレが無いか確認して頂く事が可能ですが、TC のズレを監視して自動でリトライする機能も装備しています。

SFT+PLAY で再生を行うと、マスターポートに CUE UP をしてから PLAY 動作を行い、TCにズレが無ければそのまま再生、ズレがある時は3回リトライを行い合わない時は停止します。再生時の TC にズレがあるとリトライ動作するので御注意下さい。

再生リトライ機能を使用する時は下記の☆MENU を設定して下さい。

注)複数素材の TC は同一にして下さい。

注)リトライ機能は RS422 制御でご使用下さい。

注)安定して同時再生を行う場合、再生開始時に一瞬 EE 画像が表示されます。

(EE 画像は必ず入力してください。)

関連メニュー<Console> リトライ再生機能		
項目番号	項目名	内容
28209	Sft+PlayMod	SFT+PLAY 操作モード 1) DelayPlay : 追っかけ再生 ☆ 2) SyncPlay : 簡易同期 Play
77000	Syc:StartCupMod	簡易同期PLAYの操作時の動作指定 1) Cueup マスターポートに CUE UP してから再生 2) Diff-Play マスターポートとの差分を計算して同時再生



77006	Syc:RetryPlayMod	簡易同期PLAYのモード指定(リトライ時の動作) 1) StartTc 開始時の TC で CUE UP して再生 2) MasterCurTC マスターポートの TC に CUE UP して再生 ☆3) Diff-Play マスターポートとの差分を計算して再生
77007	Syc:RefReSyncMod	簡易同期PLAY リトライ動作時に、EE コマンドを使用するタイミングの指定 1) Disable 動作 OFF 2) Retry リトライ時に EE 動作します ☆3)ALL 操作時に EE 動作します
77008	Syc:RefReSyncSel	簡易同期PLAY時に、EE コマンドを使用するか否な指定 1) Disable 動作 OFF ☆2) EE/PB-Cmd MENU77007 に従いコマンドを送信

【ClipList 簡易同期PLAY リトライ機能&LOOP 再生】

4台の同期再生時、ClipListにIN点/OUT 点を登録し再生する事が可能です。

F-PLAYボタンで IN/OUT 間の再生を行う事が可能です。

SFT + F-PLAY ボタン操作で IN/OUT 間の LOOP 再生が可能です。

本機能を有効にするには下記の☆MENU を設定して下さい。

関連メニュー<Console> ClipList 再生リトライ機能 & LOOP 再生機能		
項目番号	項目名	内容
29602	ClipListFplayCont	Clip List 画面の F-PLAY 操作時時の動作 1) Play ☆ 2)Cupup & Play

## 1.6 Blank ボタンの設定

デバイスコントロール キーの白キーを下記の設定にて出荷しました。

※本機能は LAN 制御使用時のみ有効です。

関連メニュー 白キー(上)			
項目番号	項目名	内容	
27812	\$ContKeyAsn-2.	Next	NEXT 動作

関連メニュー 白キー(下)			
項目番号	項目名	内容	
27813	\$ContKeyAsn-3.	Prev	PREV 動作

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

---

## **武蔵株式会社**

**TEL 03-5982-4391    FAX 03-5982-4784**

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>

---